

# 10. メールのマナー

大学では、授業に関連して、先生や他の学生と電子メール（以下、メール）でやりとりする機会があります。メールには以下のような注意点やマナーがあります。みなさんが普段使用している**SNS (LINE、X等)とは用途や性質が異なる**ことを理解したうえで使い分けましょう。特に、大学の先生は毎日たくさんのメールを受け取ります。メールを受け取る相手に配慮した円滑なコミュニケーションをとるよう心がけましょう。

## メールを出す際の注意点（授業に関する質問等を先生に送る場合）

- 立教メール (SPIRIT Gmail) を使う。
  - ▶ フリーメールや携帯メールを使うと、送信先で迷惑メールと認識され、目に触れずに削除される可能性があります。
  - ▶ 大学からの連絡は立教メールのアドレス宛に送られるため、普段から立教メールを使用しておくといでしょう。
- メールには、必ず「**件名**」、「**宛名**」、「**本文**」、「**署名 (氏名、所属、連絡先)**」を記載する。
- メール本文は、口語（話し言葉）よりも丁寧な言葉づかいにする。
- 半角カタカナや絵文字、機種依存文字（①②③ⅠⅡⅢ♥TELなど）は使用しない。
  - ▶ 相手のPC環境によっては、文字化けする可能性があります。
- 添付ファイルの容量は5MB（メガバイト）に収める。

## メール作成時のポイント

以下にメール作成時の**必須ポイント**を示します。すべてを網羅した構成になっているか確認したうえで、送信しましょう。

基礎演習の学期末レポートに関する質問（立教 花子）

To

Cc

Bcc

基礎演習の学期末レポートに関する質問（立教 花子）

阿部 太郎 先生  
Cc: 佐藤 ゆうこ 様

□□学部●●学科○年の立教花子と申します。  
水曜日 2 時限目「基礎演習」学期末レポートについて 2 点質問があります。

1) テーマについて  
..... (略)

2) 文字数の上限について  
..... (略)

お忙しい中、申し訳ございませんが、お返事いただけると幸いです。  
どうぞよろしくお願いいたします。

-----  
立教 花子  
立教大学 □□学部 ●●学科 ○年  
△△△△@rikkyo.ac.jp  
-----

Sans Serif | [アイコン] | B | I | U | A | [アイコン] | [アイコン] | [アイコン] | [アイコン] | [アイコン]

送信 [アイコン] [アイコン] [アイコン] [アイコン] [アイコン]

To にはメールを送信する相手のアドレスを記載する。

Cc・Bccの使い方については、次ページを参照。

件名は、メールの用件が簡潔に分かるようにつける。  
・差出人が分かるように、件名の後に氏名を記載するとよい。  
・氏名は**フルネーム**で記すこと。

本文の最初に、宛名を記載する。  
Ccを使用する場合は、本文にCcの宛名も記載する。

用件の前に、自分が誰であるか名乗る。  
学部学科、もしくは受講科目などを氏名とあわせて記載する。

用件は明確に分かりやすく書く。  
・例えば、小見出しをつけ、内容のまとめりごとに余白をとる。  
・1行の長さは、30～35文字程度を目安とし、適宜改行する。

末尾には、署名(氏名、所属、連絡先)を記載する。

名前を名乗らないと、先生は誰から来たメールが分かりません。

## 「Cc」と「Bcc」の使い方

Cc と Bcc には次のような違いがあります。目的に応じて使い分けましょう。

Cc (Carbon Copy の略) は、To で送る相手以外にも、そのメールの内容やメールを送信した事実を知らせたい相手がいる場合に使用します。なお Cc 欄に記載したメールアドレスは、To で送った相手も見ることができます。

Bcc (Blind Carbon Copy の略) は、Cc 同様、To で送る相手以外に同じメールを送りたい場合に使用します。Bcc を使用した場合、Bcc 欄に記載されたメールアドレスや、そのメールが Bcc で誰に送られているのかということが、To や Cc で送った相手には一切分かりません。そのため、Bcc はメールアドレスという個人情報を慎重に取り扱いたい場合などに使用することがあります。ただし、Bcc を使用しているということを明記した方がよい場合もあります。

立教ゼミナールのグループ発表に関する質問 (立教 太郎)	
To	□□□□@rikkyo.ac.jp *
Cc	××××@rikkyo.ac.jp *
Bcc	△△△△@rikkyo.ac.jp *    ○○○○@rikkyo.ac.jp *
立教ゼミナールのグループ発表に関する質問 (立教 太郎)	
□□□□ 先生 Cc : ×××× 様 (このメールは、グループ発表のメンバーにも Bcc で送信しています)	
木曜日 3 時限目の「立教ゼミナール」を履修している立教太郎と申します。 ..... (略)。	

Ccに記載したメールアドレスは、受信者全員に対して表示される。

Bccに記載したメールアドレスは、送信者のみ見ることができる。

Bccを使用していることを明記する場合は、宛名に続けて記載する。

## ネットでのルールとマナー

メールに限らず、インターネットを利用する場合には、様々なルールやマナーがあります。

普段の社会生活と同様、インターネット上でも他者の個人情報、公序良俗に反する内容、誹謗中傷にあたる内容などを流してはいけません。また、ブログや SNS などでの、軽い気持ちでの書き込みが、思わぬ反応や結果を引き起こすことがありますので、十分に注意してください。

なお、一度インターネット上に公開した情報は完全には削除できません。自分自身のプライバシーの保護にも留意しましょう。

詳しくは

『V-Campus ガイドブック』(メディアセンター作成)を参照しよう

「Rikkyo V-Campus」で提供されている様々なサービスやその利用法、また、メールやインターネット等に関する情報倫理について詳しく説明されています。ポータルサイト「SPIRIT」から閲覧しましょう。

**SPIRIT** : <https://spirit.rikkyo.ac.jp/> (ログイン後、「V-Campus ガイドブック」と検索)

情報倫理教材を活用しよう

CanvasLMS 上に情報倫理教材「INFOSS 情報倫理」が掲載されています。

「INFOSS 情報倫理」では、ネットワーク社会に必要な情報倫理の最新知識を学習することができます。テキストに加えて理解度を確保するための小テストも用意されています。ぜひ活用してください。

**<https://canvas.rikkyo.bownet.cloud/courses/14866>**

※「INFOSS 情報倫理」を利用するには画面の指示に従いコースを登録してください。